

「元刑事が教えるグレない子供の育て方」

■想定する対象者

少子化の中、子供をどう育てていいかわからない親御さんも多いと思います。講師は刑事約20年の経験の中で家庭や両親に恵まれず、いわゆる不良になった子供達をたくさん見てきました。どうしたらまっすぐに育つのか、子供の成長でお悩みの保護者に対してお話します。子供が反抗する、家庭内暴力に困っている、不良になった、子供の将来が不安などの子育てに不安をもつ保護者や教育関係者が対象です。

■提供する価値・伝えたい事

子供のウソは人生最初の問題行動です。子供のウソはみえみえの場合が多いわけですが、子供のウソは責めてはいけません。ウソをついた原因がどこにあるのかを探るのです。それは親が子供にウソをつかせている可能性があるからです。「ウソをつくな!!」と叱ってばかりいると子供はウソが上手につくようになり、最終的には大きなウソをつくようになります。そして犯罪を引き起こすのです。子供のウソの見抜き方も交えてウソと犯罪との結びつきについてもお話します。

またグレル子供、犯罪に手を染める子供はその殆どが不遇な幼少期を過ごしています。つまり親から愛されずに育ったので人や子供を愛することができずに人を傷つけてしまうのです。残忍な殺人事件を犯した少年や薬物で捕まった芸能人などの家庭環境にもフォーカスしながら親と子供の接し方についてもお話します。

■プログラム内容

- ・グレル子供は不遇な幼少期を過ごしている
- ・親自身が自分を受け入れることも必要
- ・子供には安全な場所が必要
- ・子供のグチを聞くこと
- ・西鉄バスジャック事件 17歳の少年の心の闇
- ・ある犯罪者のウソとは
- ・子供のウソは人生最初の問題行動
- ・子供のウソを感じたらウソをつかせた原因を考える
- ・最悪のウソは犯罪を犯すこと
- ・子供の真意の見抜き方
- ・子供に自信を持たせる方法

■講演参加者の声

1 講演を受けたアンケート結果(某青少年団体・青少年育成市民の会)

- 大変参考になった 25名
- 参考になった 27名
- 普通 5名
- 物足りない 3名
- 未記入 2名

2 ご感想

- ご自分の経験話を聴けて、大変参考になりました。
- 話の中でウソを見抜く事より、ウソを感じる事が大事という事です。
- やはり、どんな人も人として愛されているという風に思える事が大切という事が改めて認識した時間でした。
- 価値観は個人差があり、全ての事に当てはまらまいと感じる。環境、経済力、教育状況、優しい思い等のバランスが取れていないと、気持ちがズレて行くと思われる。(優しい気持ち⇔悲しい気持ち)2つのバランスがとれていないとストレスがたまると思う。日常的(家庭で)会話を作る場所を常に作る。社会、学校、会社等の場で会話がしやすい環境作り(コミュニケーション力を養う事が出来ると思う。)
- 講演では、そこまで聞いていいのか?という話もあり、また 今のままの子育てでもいいんだな。という自信を持てる話もあり参考になりました。
- 母親は母らしく思っておりましたが、現代の母達は自分の事をママとか呼ばせないでミーちゃんとか個人名を子供に呼ばせたり…。友達のような親子の有様で心配でしたが、話を聴いて上手にコミュニケーションが取れていれば それも有りかなと感じた1日でした。有難うございました。
- 本日はありがとうございました。今回の講演で親子の接し方で子供の育ち方が変わる事が良く分かりました。私は、あまり子供に対して感情表現が上手くないのですが これからは自分の気持ちも上手に出し子供の本音も引き出したいと思います。自分も子供も「ありのままの自分でいいのよ。」でいいんですね。
- 先生の実体験を交えたお話、とても興味のわくお話しでした。なかなか子供を叱ってばかりになってしまいますが、こちら素直になりお互いありのままの自分を話せるような関係を、これから築いていけるように一番の味方でいられるように心がけていきたいと思います。有難うございました。
- 親が自分の感情を表したり、失敗談等を話す事で子供も心を開くという事が分かった。周囲の人のサインに気付ける人になりたいと思った。
- 子供のウソを感じる事が大切。母親として、ウソが見抜けたら正そうとしてしまいます。難しい事だと感じました。

- 子供の接し方の重要性を学びました。子供自身の人格を尊重し子育てしていこうと思います。
- 講演を聞いて、子供の接し方を反省させられました。ブレナイ子にする為に、沢山ヒントをいただきました。明日からの生活に役立てていきたいと思います。
- 子供の育て方を再認識する事が出来ました。若い父親、母親に伝える事が出来たらと思います。
- 皆が知っている世の中の事業を元に話をされたのが興味深く聴けた。
- 時間と日時が合えば、また参加する事が出来るのですが・・・。
- 今回はお世話になりました。学校の現場でも、先生の大人の価値観を押し付ける事が良くあります。子供にも人権があるので、押し付けるのではなく1人の人間として向き合い認め、その子の自尊感情を高めていきたいと思いました。
- 大変参考になりました。
- 人は人。自分があれば問題無し！！ブレナイ人間になる。
- 子育てに大変参考になった。
- 大変、為になりました。男の孫が4人いますので参考にします。
- 子供に対する接し方が勉強になりました。
- 子育ては終わったけれど、これから孫に対しより良い接し方をと考えています。
- 大変参考になった。今後の人生で役立てたいと思います。
- 具体的事例に基づき考える課題を投げかける手法は特に良いと思う。
- 子供をグレさせない方法として、親が自分自身を受け入れる事。子供にとって安全な場所を作る事。子供のウソを感じ取る事。等、知らない事だらけでした。とても勉強になりました。
- これからの人生に参考にします。
- 改めて聴く必要はないと思った。
- 1人の人格として尊重して育てる事が大切だと思いました。
- 本日は貴重な体験からの子供の育て方のお話を有難うございました。
- 子供も大人もウソを見抜く事よりも感じる事の大切さが分かりました。又、家庭の環境がその子を育てる。コミュニケーションが大切だと分かりました。
- 元刑事さんが、どんな話をするのか楽しみにしていました。もっと、テレビドラマのような取調の話かな・・・と。違いましたが家族の在り方を再考させられました。
- 「ありのままのあなたでいいのよ。」というメッセージの真のあたたかさ、大切さを感じました。
- 特に新しい情報を得たという感覚ではありませんでしたが、こういう機会(改めて自分の子供に対する接し方を考える。)を得る事が出来て良かったと思います。
- 先生のお話の通り、親として反省する事 大でした。
- 具体例があって良かった。最後は講師本人の子供の頃の境遇には感心した。

■講演者

森 透匡(もり ゆきまさ)

株式会社 Clearwoods 代表取締役／究極のコミュニケーションコンサルタント

警察の元警部。27 年勤めた警察を退職して独立し、刑事時代に培った知識、スキルをビジネスで役立ててもらうために「刑事塾」という学びの場を開講。「ウソ(人間心理)の見抜き方」を主なテーマに各種団体、企業から依頼を受け、毎年全国 170 か所以上で講演・セミナー・企業研修を行い「究極の心理学だ!」「おもしろい!」と人気を博している。テレビ朝日「モーニングバード」、フジテレビ「ノンストップ」、読売新聞、日経新聞などメディアへの出演、掲載も多数。

■講演依頼のご相談は、ノビテクマガジン・ビジネスタレントへ

<http://www.nobetech-mag.jp/>

TEL 03-5844-144 平日 9:00~18:00 (担当:八波)

以上。